

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 療育センターももっこ

保護者等数（児童数） 20

回収数 8

割合 40%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	1		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	8	0	0	0	細かい支援計画で、家庭・学校とで共通理解ができるのでありがたい。	
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	0	活動の中で、個々が活躍できる場面があり喜んで参加できている。	
保護者 への 説明等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1	0	0	支援について詳しく教えてくれ、家庭・学校と共通理解ができています。	
	7	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	8	0	0	0	課題について学校・家庭でも共通理解し、丁寧な説明で分かりやすい。	
	8	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	0		
	9	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	0	1	3		
	10	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	2	苦情等は特にない。	
	11	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		
	12	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3	0	1		
	13	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	14	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1	0	1		
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	0	3		
満足度	16	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	創作・調理・外出と、どれも楽しみにしている。	
	17	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0	細かいところまで支援してもらいたい。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 療育センターももっこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		活動内容により、空間が手狭な時があります。
	2	職員の配置数は適切である	5			適切な職員配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			床面はすべてフラット構造となっておりますが、通路が狭いため、車いすへは非対応です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			日々の反省会や毎月の運営会議で、業務の改善に向けて全職員で取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			年一回、評価表のアンケートで頂いたご意見は、職員全員で共有し、改善するよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0			法人内で実施しているサービス向上委員会で評価の機会を設定しています。このことについて現場職員の周知に努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			コロナ禍での対応として、外部研修がオンラインで行われる中、積極的に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1	2	客観的な指標が必要であり、検討します。個別にVinelandⅡでの分析を取り入れています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	1	4	児童発達支援からの継続利用児が多いため、その時のアセスメントを使用しています。必要に応じて、個別にVinelandⅡで分析しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			担当職員が立案し、職員全員で確認・修正という形をとっています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			調理・創作・外出等の活動を設定し、同じ内容が続かないようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1	2	月一回の土曜日の活動設定のため、月ごとの内容設定をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2		3	個々の状況に応じて計画を作成し、主に集団活動を実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			事前に職員間で共有しています。 また、毎日支援開始前に朝礼を行い支援内容等確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			毎日、支援終了後に反省会を行い、支援の振り返り等を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			支援の様子は必ず連絡帳に記入し、コピーをファイリングしています。反省会であげられた共有事項等は支援記録システムで記録・活用し、支援へ繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			半年ごとに、計画内容の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1		毎回、活動内容を工夫し、幅広く経験を広げていけるようにしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			サービス担当者会議が開かれる場合には、担当職員が参加していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	0	2	2	月一回の土曜日の活動設定のため、小学校との情報共有は保護者を通じて伺っている状況が主となります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		今後必要となってきた場合にはしっかりと連携を取っていきたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	2	必要に応じて情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	利用対象児を低年齢までとしているため、該当がありません。			

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	3	児童発達支援センター企画の研修を受講しています。また、他機関へ見学を行っています。
	26	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2		3	今年度は実施がありませんでした。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			利用日にはその日の様子を伝え、保護者の方から様子も伺っています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	2	3	保護者の方対象の茶話会は行っていますが、家族支援プログラムでの研修等は行えていません。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に説明を行っています。
保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			利用日にはその日の様子を伝え、保護者の方から家庭や学校生活の様子も個別に伺っています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0			保護者対象の茶話会を開いてきましたが、コロナの関係で広く呼び掛けることができていません。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情処理の体制について、契約時に説明を行っています。また、苦情に限らず保護者にとって困ったことがあった場合は、スムーズに対処できるようにしています。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	2	会報は出していませんが、法人としてSNSでの発信を始めました (Facebook・Twitter・Instagram)。活動概要や行事については随時お伝えしています。
	34	個人情報に十分注意している	5			法人として、個人情報について厳重に管理しています。肖像権使用についても、個別に文書で確認しています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			視覚的に伝えたり、メモや文書にして伝える等の工夫をしています。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3	法人全体として取り組んでいます。今年度はコロナ対策もあり実施できませんでした。
37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		2	コロナ感染症対策として、机上シュミレーションを行っています。マニュアル等について、保護者への周知は不十分のため、周知できるよう努めます。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年間計画に沿って定期的に訓練を実施していますが、放課後デイサービス想定での訓練は実施できていないため、今後行っていきます。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			岡山県障害者虐待防止・権利擁護研修をオンラインで受講しています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			契約時に説明し、職員にも周知しています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者からの聞き取りを基に、給食やおやつはアレルギー対応を行っています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			職員一人ひとりが月に一度事例を提出し、改善できる方法を検討し共有しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。